

補助金交付状況の ホームページでの公開

小林秀雄議員(フオ) 補助金の交付状況はホームページで公開されているか。されていないか。今後、どのような対応をするのか。

補助金交付の件数と金額は補助金の交付状況をホームページで公開すれば、市民の関心が高まると思うがどうか。情報公開条例の規定では、どうなっているか。

市長 現時点では行っていない。公開を行っていく項目のこととして予定したい。

多くの人に補助金交付の状況や成果についての認識や理解が深まることを予想され、さまざまな形で行政へ還元されることにより、種々の効果が上がることが考えられる。

建築物に 環境配慮の視点を

苗村洋子議員(緑ネ) 市内にある省エネルギー住宅など環境に配慮した建築物の数は、今後把握していく考えはあるか。

都では建築確認を受けるすべての建築主に環境配慮を要請するとしているが、都の基準より小さい建築物についても環境配慮の計画書提出を求めると、市の独自施策を考へてはどうか。今後、環境に配慮した建築物を市内にふやしていくために、どのような施策を考へているか。市長 住宅金融公庫の省エネ

ルキータイプの新築融資実績が平成13年度で30件と確認している。今後は都や公庫と連絡をとり、情報を得ていきたい。

都では延べ面積1万平方メートルを超える建築物を新築・増築しようとする建築主が対象だが、制度が動き始めたばかりであり、しばらく都の動向を見守りたい。

都環境確保条例の趣旨の普及啓発をし、また市環境基本計画に基づき市民環境配慮指針づくりでの議論に期待している。

環境 公害

落書きをなくせ

永田政弘議員(政和) 落書き、放置自転車、たばこのばい捨てなどの小さな違法行為を許さず、ますます町の景観を損ねることになる。今のうちに対策を立てることも必要と思う。

小平市の落書きの現状は、標識等への落書きはどうか。



市内の落書きの被害(小平駅南自転車駐車場)

今後どう対処するつもりか。予算や条例化等についてはどう考えていくか。

市長 最近の例では、6月に路面や看板、民地の塀などに合計90件の被害を同時に受けたが、交通標識の被害はなかつたと小平警察署から聞いている。

この事件を契機に警察署にパトロール強化を要請し、状況を見て再発防止策を検討したい。現段階で条例化は考えていないが、今後とも町をきれいにする活動を行っていく。

ヒートアイランド現象等による小・中学校の暑さ対策

加藤俊彦議員(公ク) 深刻化する都市の高温暖化対策の、近隣市の状況や小平市の考えは、

今までの教室の暑さ対策は、夏休み中の教室利用者数は、文科科学省が、公立校の普通教室に空調設備を導入する計画を実施するとしていたが、市としてこの事業を今後要請していくのかを含め、見解は、

市長 近隣では2市が太陽光発電設備の設置助成、1市が建築物緑化の補助制度を設けている。小平市では、市施設の屋上緑化や太陽光発電設備の導入を図る

とともに、研究していきたい。教育長 天井扇風機を要望に応じて取りつけ、音楽室等は全室エアコンを設置している。

小・中学校で、延べ約1万5千500人が利用した。制度内容が明らかになった時点で検討していきたい。

化学物質の 子どもガイドライン

石川 紀議員(緑ネ) 化学物質による子どもの健康への影響を未然に防止するための行動指針である子どもガイドラインの第一弾として、鉛ガイドライン(塗料)を都が発表した。

子どもが多く利用する市内公共施設において、鉛が使用されている製品の事態をどのように把握または認識しているか。

塗料は何を使用しているか。鉛化合物は含まれているか。今後の対応は、

この子ども基準の考え方をどう受けとめているか。

鉛を含む塗料は保育園、学校、公園等の建物の鉄骨、鉄さく、遊具等に使用されている。鉛化合物を含んでいるものと含んでいないものがある。

高齢者世帯の「こみ出し」支援等 「こみ対策」の充実を

高橋信博議員(政和) 「こみ」高橋信博議員(共産) 「こみ」リサイクル問題に取り組み始めた当時の初心に戻り、市民の生活実態に基づいた積極策を展開すべきと考える。

プラスチック系「こみ」の分別がわかりにくいという声が大変多く寄せられており、広報の質

と量との充実が必要と思うが、今後の対応策は、

「こみ出しが困難な高齢者世帯」に対しては、家族や地域での支援が得られないと判断した場合に対応しており、現在25世帯を戸別収集している。「こみ問題」に限らず、高齢者世帯への支援は地域の「コミュニティ」が重要な役割を果たしていると考えている。

市長 市報や説明会等で周知徹底に努めたが、まだ周知は十分でないと思われるので、さらなる広報活動を実施していきたい。

交通 安全

地球環境に優しい自転車を利用したまちづくりを

立花隆一議員(公ク) 小平市環境審議会での自転車利用の議論はどうか。

自転車関係する事故の現状は、また事故防止の具体的な対策などを、どう講じているか。

自転車を共有する小平版のレンタサイクルの検討状況は、

職員が自転車の検査状況は、

事故現場は警察で把握しており、市での作成は難しい。昭和病院バス停留所付近は駐車場への出入りが問題なことから、警察より駐車場の施設管理者に対策を講じるよう要請する。平成13年は自転車関係する事故が497件で、前年より増加し、内容は信号無視等だった。対策として、市報で注意を促していきたいと考えている。

実施自治体の状況や導入効果等を研究していきたい。

「こみ出しが困難な高齢者世帯」に対しては、家族や地域での支援が得られないと判断した場合に対応しており、現在25世帯を戸別収集している。「こみ問題」に限らず、高齢者世帯への支援は地域の「コミュニティ」が重要な役割を果たしていると考えている。

市長 市報や説明会等で周知徹底に努めたが、まだ周知は十分でないと思われるので、さらなる広報活動を実施していきたい。

たかの街道の歩道及び 沿道の整備など

木村まゆみ議員(共産) たかの街道の水車通りから府中街道までの歩道は、道路標識や信号の移設など、徐々に改善されているが、より改善を求めたい。

「A東京むさし」たかの台支店の東側の土地が売りに出されているが、調査はしているか。

たかの台第一号踏切西側に電柱を民地に移すという話の進展はどうか。

仲良しひろばについて、自治会との話し合いはどうか。

自治会の集会所を併設した高齢者の交流室や小規模の「コミュニティセンター」などの建設は不可能なのか。

市長 調査はしていないが、売買情報等は承知している。電柱管理者や土地所有者と合意が得られない状況で、この改善については、たかの街道の歩道改善を検討しており、この結果により対応したい。

ひろばの一部を歩道として活用することについては、意向に沿えないとの回答があった。市が新たに施設を建設することは考えていない。

道路

美園町二丁目付近の交通安全対策

原邦彦議員(公ク) 美園町二丁目付近の小平駅西側踏切から北に向かう道路は狭路で、歩行者の安全確保もままならない状況である。通勤時は車両も多く大変危険で、改善計画を早急に進めるべきと考える。

対象道路が都道であること

土地を買収せずに安全な歩道をつくるには

斎藤 敦議員(フオ) 市役所西通りの、一橋学園駅北自転車駐車場に隣接する歩道は、歩道全体が車道側へスロープ状に傾斜しており、ベビーカーや車いすなどでは危険である。改善できないか。

鈴木街道の小平団地から新小金井街道間など、歩行者レ

歩道については段差ができていないか等の確認をしている。また、だれもが安全で快適に歩道を行くことが基本と考へ、今後計画的に必要に応じて改善を行っていく。



改善が望まれる狭い道路(小平駅北側)



一橋学園駅北自転車駐車場付近の歩道